



サッカー少年団の子供たちと練習を行いました



大阪産業大学の監督からシュート練習を教わりました

少年団とも交流深めた夏合宿 延べ3350人が来町しました！

交流人口の拡大を図り、町の活性化を目指すスポーツ合宿事業も今年で12年目を迎えました。全道はもとより、全国各地から高校・大学・実業団など10団体延べ3350人が津別町を訪れました。今年は景気後退や燃油高などが影響したこともあり、合宿に訪れたチームは昨年より大幅に減ったものの、期間中は天候に恵まれ、実践的な練習を数多くこなしていました。

また、地元のスポーツ少年団との交流も実施され、旭川明成高校野球部、北見北斗高校サッカー部、大阪産業大学バスケットボール部によるスポーツ教室では、楽しさや練習の基礎について教わっていました。



投げ方の細かな指導を受ける津別中学生



NITコミュニケーションズと九州電力の練習試合



『コリンキー』というかぼちゃを収穫した南アルプス市の子供たち



町内の子供たちと川くだりを楽しんだ船橋市の子供たち

夏休みを利用し来町 船橋市、南アルプス市との青少年交流

8月1日から5日までの5日間千葉県船橋市の40人の子供たちが、8月5日から7日の3日間は、山梨県南アルプス市の子供たち20人が青少年交流事業で来町しました。船橋市の子供たちは、津別町の子供たちとの交流や網走川の川くだり、木工体験（鳥笛作り）に挑戦しました。南アルプス市の子供たちは、布川の河本孝雄さんの農場で、かぼちゃなどの収穫体験、西達美の山田牧場で搾乳やバター作り、乗馬などの酪農体験を楽しみました。子供たちは、女満別空港から津別町の夏の思い出をお土産に帰っていきましました。

「Kニット」津別工場再操業 安心・安全な乳幼児服の製造を

8月4日、子供服、婦人服の製造メーカーの小林ニットウェア（本社山梨県南アルプス市）の津別工場操業セレモニーが、佐藤多一津別町長ら関係者40人が出席して津別工場内（新町）で行われました。

平成15年、生産の拠点を中国に移し、津別工場を閉鎖しましたが、中国製品に対する不安から、安心、安全を求める声が多く、津別町で「ベビー服」の製造を再開することになりました。操業の再開で、元従業員が12人採用され、町内に新たな雇用がうまれました。



する不安から、安心、安全を求める声が多く、津別町で「ベビー服」の製造を再開することになりました。操業の再開で、元従業員が12人採用され、町内に新たな雇用がうまれました。

topics

まちのわだい

各地域で盆踊り大会 大勢の人で賑わいました

8月12日、いちいの園・共和地区合同盆踊り大会（いちいの園駐車場）を皮切りに、8月13日、本岐地区盆踊り（多目的公園）、8月14日、活汲納涼盆踊り（活汲小中グラウンド）、8月15日、つべつ納涼盆踊り大会（津別社境内）と4夜連続で盆踊り大会が開催されました。今年も、雨、冷夏が多い傾向にありますが、各地区とも自治会、地域住民が涼しさをあじわうため、大勢参加し、賑やかに開かれました。



20年の封印が解かれる 津別小学校のタイムカプセル



8月2日、津別小学校で、創立100周年記念事業協賛会（大東勲協賛会会長）が主催するタイムカプセルの掘り出しと、新しいカプセルの埋設が、在校生と卒業生が参加して行われました。参加者は、20年前（平成元年）の創立80周年に埋設された、タイムカプセルを開けて昔を懐かしんでいました。5月17日に記念植樹が行われた旧正門前の木の近くに、在校生が、新たにステンレス製のタイムカプセルを埋設しました。また、20年後に会いましょう。

167人による大合唱 児童合唱団による津別公演



8月9日、中央公民館で「こどもの城児童合唱団」による公演が行われた。これは児童健全育成財団の児童劇巡回劇場事業の一環として行われ、約100人の親子連れが、「地球の仲間」や「勇気があれば」など全17曲を披露。朗読劇では合唱団オリジナルの歌や踊りを交えながら「3匹の子ぶた」を披露し、来場した子ども達は笑顔を浮かべながら鑑賞していました。午後からは、合唱団の子供と地元の子供が、一緒に遊んだり、名前を書いた名刺を交換するなどの交流も行われました。

九州あそび研究所の中島さん講演 ふれあい町民の集いを開催



第59回社会を明るくする運動「ふれあい町民の集い」が7月29日に中央公民館で行われました。初めに、小中学生と一般を対象にした「社会を明るくする標語」の表彰式が行われ、最優秀賞に選ばれた活汲小学校3年生の細川瑞生さんと津別中学校3年生の柳瀬可奈子さんが表彰を受けました。続いて、九州あそび研究所の中島宏 所長による「あそばないこどもは育たない！」と題し、簡単なゲームを通して「あそび」の持っている力について講演が行われました。

北海道地域再生チャレンジ交付金事業の採択を受け津別町での『森林セラピー』をはじめとするまちづくりを進めるにあたり、7月30日、独立行政法人森林総合研究所の香川隆英さんを講師に招き、「森林セラピーの効果について」という演題で講演が行われた。森林セラピーによる予防医学や森林セラピー基地の認証を得るための様々な実験やその効果について詳しく話がありました。参加した48人は真剣な表情で講演に耳を傾けていました。



管内初の基地認証に向けて 森林セラピー講演会開催